の特定
など、
ゴール
は大規
や内外
策も施
。

の紛糾を半減するとして
いた。
しかし、7件のうち3
件は1者のみの参加にと
どまった。
半数できないとし、この
ほど開いた総合評価審査
委員会で15年度の試行継
続を決めた。

評価へ

標津町 15年度に6区画分譲
川北市街地の活性化で

【根室】標津町は2015年度、川北市街地の活性化に向け町有地6区画の分譲を計画している。川北市街地活性化懇談会の提言を受け、14年度から進める「人口減少時代に挑戦する政策パッケージ」に追加したもの。今後、価格や条件を設定して分譲し、移住・定住の促進を目指す。

対象は、公住跡地など川北市街地に点在する3カ所の遊休町有地。15年度予算案には下水道や水道、区画割り測量などのインフラ整備に235万円を盛り込んでいる。

町は14年6月に川北市街地への移住・定住促進を目的に、川北地区の各町内会長など地域住民を中心メンバーとした同懇談会を設置。10月には同懇談会が「川北市街地の書」をまとめ、金沢瑛町長に提出した。

この中で最重要項目に位置付けられたのが、遊休町有地の分譲。懇談会は、移住・定住希望者がいても地区内には住宅を建設できる土地が少ないとして、戸建てや単身用アパートの建設地確保を求めていた。

町は標津市街の美郷団地28区画について定住を条件に無償分譲しが、川北市街地での分譲については移住者向けの空き家・空き地バンクにも登録し、有償とする考え。今後、民有地売買への影響や条件を設定する。

町は14年度に、最高300万円を補助する新築住宅取得支援制度を創設し、この制度を活用すれば美郷団地よりも割安に家を建てることができる」とPRしている。

帯広市 現行体制で最高額に
市道除雪費1億円を追加

【帯広】帯広市議会は13日の定例会で、2014年度一般会計に市道除雪費1億円を追加する補正予算案を可決した。これにより14年度の除雪費総額は11億8500万円となり、直営から民間の除雪共同体に委託するブロック除雪体制に移行した01年度以降で最高額となった。新雪除雪の出動回数増加や、各地で発生した吹きだまりの処理などが影響した。

14年度当初の除雪費は4億8500万円。昨年12月16—17日には市内で初予算で見込んだ道路脇の排雪点の雪山処理を実施ため、12月22日付で専決処分した。も新雪除雪の経費みこし2月の13日にもそれぞれ100万円を専決処保したが、3月10日で予算を消化し切め、さらに1億円を

現体制移行後の最高額だった12年億6600万円を更新。14年度は、増税やオペレータ務単価上昇に加え状況の変化が大きしている。

11月1日から3までの帯広市の累量は212ヂで、より29・3%も増街地幹線道路の新の出動回数も、13り4回多い7回に

また今シーズンでは、大型低気圧により雪も風も強地で吹きだまりが除雪事業者は新雪は別に、吹きだまにも追われる結果た。

地域振興へ延伸祝う
帯広・広尾自動車道 更別—忠類大樹IC 16・7km開通

【帯広】帯広・広尾自動車道更別IC—忠類大樹IC間16・7キロが、15日に開通した。地元関係者や施工者らがテープカットや通り初めなどの記念式典をして幕別町忠類地区までの延伸を祝った。

高規格幹線道路である同自動車道では、2013年に開通した中札内IC—更別IC間に続く供用。今回の完成により、帯広市—広尾町間の所要時間は夏季で9分、冬季で33分短縮される。

式典のあいさつで同自動車道早期建設促進期成会の米沢則寿会長（帯広市長）は、地域振興や大規模災害時の避難路、救急搬送支援などの整備効果があると指摘。「東十勝の連携がさらに強まる。十勝港がある広尾町までの事業化が早期に実現するよう力を尽くしたい」と意欲を見せた。

来賓の鈴木貴子衆院議員は「地方を元気にするには交通機関の維持や拡大・拡充が必要。地元の皆さんの強い信念があって、新たな歴史が、新たな道路が、未来への一歩が築かれたのではないか」と祝辞を述べた。道建設部の下出育生建設部長は「道東の農業を支える重要な路線の完成を喜びたい」という高橋はるみ知事のメッセージを代読した。

テープカットには地元の町村長や小学生らが参列。くす玉を開き、風船を飛ばすなどして開通に花を添えた。

平野副局長（左）が感謝の品を手渡した

い豪
建管
帯広
され
協同
2人
野陽
謝の
事業
を担
当。この冬は十勝管内も例年以上の積雪だが、さらに深刻で通行止め区間が多発した釧路建管管内への応援を求められた。今月4日から9日まで、大型ロータリー除雪車を使い中標津町の養老牛虹別線などで作業した。

オペレーター2人に対し平野副局長は「十勝から他管内への除雪応援は、2004年に発生した北見の豪雪以来。釧路とも隣同士でいろいろと連携を取らなければならない。本当にありがたい」と感謝した。

オペレーターとして20年のキャリアを持つ北海道道路保全の中野克則工務係長は「土地勘がない上に標識のない場所もあり、苦労した」と振り返る。助手を務めた近藤瞬也さんは「交差点の雪山が驚くほど高く、衝突事故を起こさないか不安だった」と無事故で作業を終えたことを喜んだ。

同協組の桜井勝雄代表理事は「地域の皆さんに喜んでもらえたと思う。オペレーターにとっても仕事に誇りを持つ、いい機会になったのでは」と2人をねぎらった。

テープカットをして新区間の完成と開通を祝った

設計変更対応など討議
十勝総合局 東部耕地 意見交換会開く

【帯広】十勝総合局東部耕地出張所と安全連絡協議会は13日、幕別町内の同出張所で工事と現場代理人との意換会を開いた。設計

0・7意
心に
円

本実施設計、既設住宅解体除却5棟20戸、用地購入▽高栄団地建て替え継続費分（6億1434万円）D団地南岡地区3・4号棟建設継続

◇常呂自治区▽末広団地建設（1億7510万28戸▽灯油集中配管（3590万円）美山団地2・3号棟72戸、南仲町団地1棟28戸

◇常呂自治区▽ユニットバス化・3点給湯配管（3080万円）南町団地5・6号棟8戸

◇端野自治区▽ユニットバス化・3点給湯配管（2490万2000円）白かば団地4号棟8戸

◇留辺蘂自治区▽ユニットバス化・3点給湯配管（2752万6000円）公園団地33・34号棟4戸、上町団地1号棟2戸

一なっている。金額等は

少ない勉強の機会で、しっかり知識を産廃処理業務に生かほしい」と要請。オホク総合局環境生活課山昌靖主幹は「廃棄理法は頻繁に改正さ